

第2回「デジタル技術活用技能伝承業務」に係る
公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日時及び場所

日時:令和8年8月 27 日(木曜日) 13 時 30 分から 15 時 35 分

場所:大阪府庁咲洲庁舎 25 階 大会議室

2 審査方法

審査基準に基づき、公募参加資格適合者について、3 名の選定委員会委員により、書類審査及びプレゼンテーション審査を実施した。最優秀提案事業者は、委員の合議により、各委員の総合評価点の平均が採択基準点を上回る最高得点の提案者を選定した。

3 議事概要

【審査方法及び審査基準の確認】

- ・総合評価点が 60 点に満たない場合は採択しない旨、委員相互に確認

○書類審査

- ・企画提案内容について、書類審査を実施。

○プレゼンテーション審査

- ・提案内容について、提案者が 15 分間のプレゼンテーションを実施。
- ・その後、委員による質疑を実施。

○審査対象者:2事業者(申込順) ※採択予定者数:1者

- ・公益財団法人大阪産業局
- ・株式会社 NTT データ経営研究所

【主な質問内容】

- ・モデル事例創出の協力先となるものづくり中小企業及びデジタル事業者の選定理由
- ・創出するモデル事例の波及効果について
- ・冊子の配布について

○最優秀提案事業者

書類審査及びプレゼンテーション審査の結果を踏まえ、各委員の総合評価点の平均を算出したところ、「公益社団法人大阪産業局」が採択基準(60 点)を超える最高点を獲得した。事業遂行能力等にも問題がないと考えられるため、同団体を最優秀提案事業者として取り扱うこととする。

【評価点及び提案金額】

最優秀提案者	総合評価点 (100点満点)	企画提案部分 (90点満点)	価格等提案部分 (10点満点)	提案金額 (税込)
公益財団法人大阪産業局	82.2点	72.3点	9.9点	17,380,000円

【選定理由】

中小企業支援に関する豊富な知見を有し、広報物及びセミナーの提案内容が具体的かつ明確であるとともに、モデル事例の創出に当たり、技能伝承が喫緊の課題となっている分野を対象としていることから、高い事業効果が期待できるため。

【講評での主な委員意見】

- ・ものづくり中小企業に関する深い知見を有しており、技能伝承が喫緊の課題となっている分野が選定されている。
- ・モデル事例創出後の府内ものづくり中小企業への波及に向け、具体的な情報発信手法等が検討されているとともに、冊子及びセミナーの内容も具体的かつ明確に提案されていることから、高い広報効果が期待できる。

4 選定委員会委員

所属・職名等	氏名	選定理由
龍谷大学 経済学部 国際経済学科 准教授	フジカワ タケシ 藤川 健	中小企業の経営や業界動向などの知見を有しており、中小企業の生産現場に関する研究を実施してきた経験から、中小企業支援に精通している。提案内容がものづくり中小企業の支援につながるものであるか等について、効果や妥当性、実効性等を審査いただくため。
大阪産業大学情報デザイン学部 情報システム学科 准教授	タカイ ユカ 高井 由佳	ものづくり分野等での技能伝承などの知見を有しており、ものづくりをはじめとする技能伝承に関する研究を実施してきた経験から、AI等をはじめとするデジタル技術の活用による技能伝承に精通している。提案内容がモデルとして機能するか等について、効果や妥当性、実効性等を審査いただくため。
日本公認会計士協会近畿会 公認会計士・税理士	キヨハラ ユウヘイ 清原 裕平	企業の財務・税務に関わる専門家として、様々な企業の支援に携わっており、企業支援という視点から提案内容の妥当性、実効性をはじめ、当該事業の提案金額の妥当性等について、審査いただくため。